

U-Factor ホールディングス、幹細胞培養上清液「U-Factor®液」の創薬展開に向け 東京大学医学部附属病院との共同研究を開始

- 老化関連疾患に対する細胞外小胞による老化関連疾患の制御機構解明に着手 -

U-Factor ホールディングス株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役：井島英博、以下：当社グループ）は、東京大学医学部附属病院老年病科（東京都文京区、科長：小川純人）と、細胞外小胞による老化関連疾患制御に関する共同研究契約を2026年4月14日に締結しました。



1. 本リリースのポイント

- 老化関連疾患（サルコペニア等）の創薬基盤強化のため、東京大学との共同研究を開始
- 細胞外小胞・幹細胞セクレトームによる老化関連疾患の制御機構を解明し、U-Factor®液の科学的エビデンスを拡充

2. 背景

サルコペニア（加齢に伴う筋肉量・筋力の低下）をはじめとする老化関連疾患は有効な薬物治療が確立されておらず、2040年の高齢者人口ピークを前に創薬ニーズが高まっています。本研究では、東京大学医学部附属病院老年病科と連携し、細胞外小胞・幹細胞セクレトームの有用性及び作用機序に取り組みます。

3. 本研究の概要

U-Factor®液を東京大学医学部附属病院老年病科に提供し、サルコペニアをはじめとする老化関連疾患のモデル細胞およびモデル動物を用いて、細胞外小胞および幹細胞セクレトームによる制御機構を検討します。

共同研究者	東京大学医学部附属病院老年病科 科長 小川純人 (東京大学大学院医学系研究科加齢医学講座老年病学 教授)
研究テーマ	細胞外小胞による老化関連疾患制御に関する基礎的研究

契約締結日	2026年4月14日
-------	------------

4. 当社独自の幹細胞培養上清液「U-Factor®液」とは

当社は、幹細胞を培養する過程で得られる上澄み液を当社独自の技術を用いて精製を行い、純度の高い培養上清液を U-Factor®液（登録番号：第 6396893 号）と名付けました。幹細胞より分泌された大量のサイトカイン（生理活性をもつタンパク質）を含んでいます。改良を重ねて特殊な方法で精製した U-Factor®液には、安全性と有効性に関して非常に大きな可能性があると考えています。

5. 会社概要

U-Factor ホールディングス株式会社

所在地：〒102-0083 東京都千代田区麹町 6-4-6

代表者：代表取締役 井島 英博

設立：2026 年 2 月 4 日

事業内容：グループ全体の経営戦略策定・経営管理

URL：<https://u-factor.com/>

6. 共同研究機関

東京大学医学部附属病院

所在地：〒113-8655 東京都文京区本郷 7-3-1

病院長事務代理：久米 春喜

URL：<https://www.m.u-tokyo.ac.jp/>

【このリリースの問い合わせ先】

U-Factor ホールディングス株式会社 広報担当

TEL: 03-5357-1580

Email: info@hd.u-factor.com